

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言のため、各種室内施設に加え、屋外遊具、集いの広場、わんこひろばの利用を休止しています。

また、研修会の中止期間も延長となり、6/13（日）までとなりました。

ご理解の程よろしくお願いいたします。

## ★ 開花情報

園内では、色とりどりの花が見られます。

苗畑では、木の上の高い位置で咲き始めたモクレン科のユリノキ（写真1）の花が、ようやく低い位置でも咲き始めました。百合の花に似ていることから名づけられ、特徴的な葉の形からハンテンボク（半纏木）とも呼ばれます。自生地のアメ리카では花をチューリップに見立てて、チューリップツリーと呼ばれます。同じ仲間では、中国大陸でシナユリノキが自生しています。日本に自生はありませんが、同じ仲間の化石が発見されています。

このユリノキのすぐ横や、浄水場前、レストハウス前では、スイカズラ科のハコネウツギ（写真1）が見頃です。ハコネウツギの花は白花で咲き始めますが、徐々に赤みを帯びてくるので、様々な花色が同時に見られます。

またアジサイ科のウツギ（写真1）と品種のサラサウツギ（写真1）も咲き始めました。旧暦の卯月に咲くことから、万葉集では卯の花の名で登場します。花は白色で、サラサウツギは花の外側に桃色の筋が入ります。この他、ツクサ科のムラサキツクサも花が増えてきました。

管理事務所横ではバラ科のシャリンバイ（写真2）が見頃を迎えています。

学習展示館正面では、レンプクソウ科のガマズミ（写真2）が、裏入口の斜面ではタツナミソウの仲間葉がシソに似ていることから名づけられた、シソバタツナミ（写真2）の花が見られます。

東山作業路では、ツツジ科でウメに似た花を咲かすことから名づけられたパイカツツジ（写真3）や、橙色から赤色の花を咲かすヤマツツジ（写真3）が咲いています。ツツジの仲間では他に、サツキツツジ（写真3）が園内各所で、ナツハゼ（写真3）が展望広場で咲き始めました。

花以外では、中水池や東山作業路などで、モリアオガエルの卵塊（写真2）がたくさん見られるようになりました。

## ●開花状況まとめ

開花中

ヤマボウシ、ジャケツイバラ、カルミア、コガクウツギ、ウツギ、サラサウツギ、ハコネウツギ、ガマズミ、トキワサンザシ、ヤマツツジ、サツキツツジ、バイカツツジ、ナツハゼ、タラヨウ、カキツバタ、ムラサキツユクサ、ニワゼキショウ、オニタビラコ、ニガナ、ジシバリ、セイヨウタンポポ、ハハコグサ、シソバタツナミ、タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリ、ネモフィラ、キンギョソウ、コハコベ、ノミノフスマ、コナスビ、キエビネ、コミヤマスマミレ 他

・ SNS をぜひご利用ください！

園内の見どころ情報はツイッターやInstagram、フェイスブックページでも確認できます。メールマガジンよりも早くお知らせできることが多いのでぜひ下記 URL からご覧ください。

Youtube チャンネル公式チャンネル

チャンネル名：ひろしま遊学の森 広島県緑化センター

URL : <https://www.youtube.com/channel/UCW5XguXkX1fHRTPCjqtq1EQQ>

ツイッターアカウント名： @Ryokkacenter

URL : <https://twitter.com/ryokkacenter>

Instagramアカウント名： kanriyokka

URL : <https://www.instagram.com/kanriyokka/>

フェイスブックページ： @ryokkacenterhiroshima

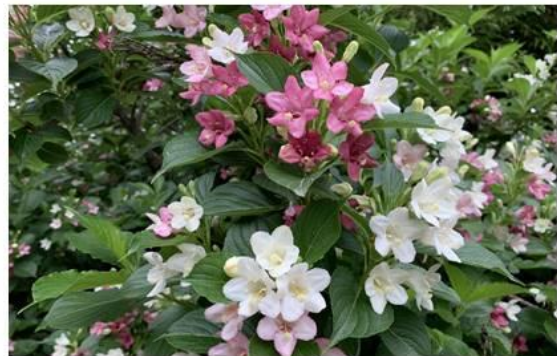
URL : <https://fb.me/ryokkacenterhiroshima>

ぜひフォローをお願いします！

<写真1>



ユリノキ (苗畑) R3.5.21



ハコネウツギ (浄水場前) R3.5.22



ウツギ (苗畑) R3.5.21



サラサウツギ (苗畑) R3.5.21

<写真2>



シャリンバイ (管理事務所前) R3.5.22



ガマズミ (学習展示館前) R3.5.21



シソバツナミ (学習展示館裏) R3.5.21



モリアオガエル卵塊 (中水池) H29 写真

<写真3>



バイカツツジ (東山作業路) R3.5.22



ヤマツツジ (西山作業路) R3.5.22



サクイツツジ (管理事務所前) R3.5.21



ナツハゼ (展望広場) R3.5.22